

武尚学

勝利を求めて

春の大会、何試合かさせていただき感じたことがあります。それは「勝利を目指すことの大切さ」です。「勝利至上主義」という言葉が悪い意味で使われることが多いため、目指してはいけないような雰囲気ですが、その「手段」さえ間違っていなければ「勝利を目指して活動している」とハッキリ口にして良いと私は思っています（逆にそれを目指さない活動とは？そんな風に思います）。

勝利を目指して・・・

緊張感のある接戦状態が続く・・・

苦しみながらも勝利を手にする・・・

目指して頑張ったが、敗退という結果に・・・

この春（勝利を目指して戦ったおかげで）多くのこと（上記のようなこと）を経験し、学ぶことが出来ました（チームの成熟を感じました）。不思議なもので、チームが勝利を味わうとどのような感じになるか分かりますか・・・また味わいたいと思うのです。

大会後、生徒達が勝手に頑張る感じになります（ここでテストによる中断は痛い・笑）。私は指導者が「やらせる」やり方は嫌いなので、今のような状態は理想的です。それぐらい大会で複数の勝利を手にしたことは大きかったですし、甲子園（県の優勝）に近いと言われている花咲徳栄高校相手に敗退はしたものの、2ケタの安打を放ち通用する部分はあるということを感じられたことは大きかったのだと思います。

皆さんご存知のように、私達に春の結果（県ベスト16・Dシード）の実力はありません。でもここから夏までの活動で、夏も春以上の結果を残したいと思っています。

考査後も引き続きよろしくお願い致します。

勝ち点1

母校・市立浦和高校、私はどの部活動も応援しています。

この日、野球部の試合は午後、午前中グラウンドではサッカー部がリーグ戦を戦っていました。私はマイメガホンを持っていますので、たった1人のサポーターでしたが応援しに行きました。観に行き始めて知りましたが、高校サッカー、野球界ではありえない腑に落ちないリーグ戦が行われていました。市高はセカンドチーム、相手の伊奈学園高校（以下・伊奈学）はトップチーム、そんな試合だったのです。所属しているリーグが同じらしく戦わなければならない・・・そりゃトップチーム（伊奈学）の方が有利だろ、実際試合展開もそんな感じでした。

野球の試合でも、相手チームの方が力のある時はとにかく守る、口を酸っぱく言っていますが、この日の市高セカンドチーム、キーパーを中心によく守り、前半は攻められながらも何とか0対0で折り返しました。後半も開始早々から伊奈学が怒涛の攻撃、そしてついにフリーキックのボールをヘディングで合わされ失点・・・4月から始まったリーグ戦、市高セカンドチームはここまで3連敗していて勝ち点0とのこと、この日も敗色濃厚か・・・そんな感じの雰囲気になってしまいました。

2点目こそ取られなかったものの、守る時間が続き試合時間が残りわずかになりました。でも（野球でもたまにこういうことがあります）しっかりやるべきことをやった（守った）ご褒美があったのです。ワンチャンスのカウンター、このプレーで1点をもぎとったのです。嬉しかったですねえ。引き分け、勝ち点1をゲットしました。

4試合で勝ち点1、でも今日の勝ち点1は大きかったのではないのでしょうか？相手がトップチームでも今日のような戦いが出来れば勝機は間違いなくあるのでは・・・そう思いました（素人なのにすいません）。

サッカー部の皆さん、お互い精一杯の戦いをし
て市高に活気をもたせましょう！